

平成19年9月10日

当行の次期勘定系システムにおける
オープン勘定系システム「BankVision」の採用決定について

株式会社山梨中央銀行（頭取 芦澤 敏久）は、次期勘定系システムについて、日本ユニシス株式会社（本社：東京都江東区、社長 靱井 勝人、以下 日本ユニシス）が提供する「次世代オープン勘定系システム『BankVision』」の採用を決定いたしましたのでお知らせします。

当行では、勘定系システムの更改について、経営戦略上の観点から調査、研究を行うとともに、当行を含む地方銀行8行と日本ユニシスで次期バンキングシステムを共同研究、企画する「S-BITS コンソーシアム」（注1）に参加し、次期勘定系システムのあるべき姿についても検討を重ねてまいりました。

その結果、日本ユニシスが提供する「BankVision」（注2）は新技術を全面的に採用した先進的なオープン系システム（注3）であり、将来の銀行ビジネスモデルの変革に対して柔軟に対応できること等の理由から、当該システムの採用を決定いたしました。

これにより、システムの開発効率の向上が図られるとともに、新機能、新サービスの迅速な提供が実現できるものと考えております。

今後、当行と日本ユニシスは、「BankVision」をベースとした当行の次期勘定系システムの構築に向けて、日本ユニシスが提供する共同運用センターの利用も視野に入れながら、移行方法、スケジュール等について協議を進めてまいります。

（注1）S-BITS（Succeeding Banking Information Technology for Success consortium、エスビッツ）コンソーシアム

平成12年11月15日に、日本ユニシスの勘定系システムユーザ行と日本ユニシスが設立した次期バンキングシステム検討・検証コンソーシアム

（注2）「BankVision」

日本ユニシスが提供するオープン勘定系システムのパッケージ名

（注3）オープン系システム

様々なメーカーのソフトウェアやハードウェアを組み合わせで構築されたコンピュータシステム。価格や性能を比べて、最も良い製品を組み合わせることができるというメリットがあります。

以上